

ききょう

タイムズ
TIMES



No.70
平成30年10月1日発行

発行：社会福祉法人ききょう会
編集：吉沢学園編集部
〒290-0523 千葉県市原市吉沢117番地
TEL.0436-98-1562 FAX.0436-98-1398

創立30周年記念イベント ファッションショー



30th NORI Design Collection
KIMONO REVOLUTION



社会福祉法人ききょう会と吉沢学園は創立30周年を迎えました。その記念イベントとして4月22日に学園内で「ファッションショー」を開催し、利用者さんはもちろん、保護者や地域の皆様と楽しみました。プロのモデルさんが、デザイナーNORIさんの作る絹の着物地からモダンでユニークな洋服の数々を披露してくれました。同時に法人内の職員、利用者さんとそのご家族もNORIさんのコレクションを披露し、会場中が笑顔と歓声で興奮したひと時でした。

ファッションショー プロ部門



さすがプロだね!
oh!Fuma!

アートショーは
エスタークとコノミが大活躍

ファッションショーを終えて

林理事長: NORIさんお疲れ様でした。職員はもちろん、地域の皆様からすごく良かったと喜んでいただきましたよ。

NORI: 私も楽しかったわ。とにかく事前準備からやってくれる方が楽しまないと楽しく見てもらえないということスタッフや職員に言ってきたけど、当日は心配することなく見事に笑顔で楽しんでくれたものね。

林理事長: プロのモデルさんたちもさすが見とれるほど綺麗でフレンドリーで、ステキな方々でしたね。

NORI: フランス人の彼女は昔からの親友で、他の施設での経験もあるので気にしなかったけど他の二人は初めて会うモデルさんだったので少し心配だったの。でも三人とも学園の人たちが明るく手を振ってくれたりして、みんな良い人達ばかりだったと喜んでいたわ。日頃の雰囲気そのまま出ているからでしょうね。



写真: (左)NORIさん/(右)林理事長

林理事長: ありがとうございます。いい職員に恵まれました。NORIさんもDJの風馬さんやヘアメイクの方、画家のお二人などユニークなお知り合いがいて楽しいですね。

NORI: そうなのよ、みんな人を楽しませたいという人たちばかりで、一緒に仕事していて楽しいわ。

林理事長: 素敵なファッションショーを見せていただきありがとうございました。これからも地域の中で皆様と「共に生きる」法人であり続けていきますので今後とも末永いお付き合いをお願いします。

ファッションショー 職員部門



参加モデルのコメント

普段とは違う服装で、皆さんの前に出るのは緊張しましたが、利用者さん、保護者様と一緒にランウェイはとっても楽しかったです。

当日とても緊張しましたが、デザイナーさんの作った服に袖を通すと自然と緊張が解けわくわくしてきました。ランウェイはとっても楽しんで行えました!

ききょう祭

一世風靡



こども神輿



ファイヤーダンス



フラダンス



加茂学園吹奏楽部

去る8月5日、ききょう会、夏の風物詩第9回ききょう祭が行われました。

本年は、ききょう会創立30周年という事もあり多くの方がお越しください大いに盛り上がる事ができました。また、今年は職員だけでなく、利用者さんや会場に来られたお客さんを巻き込んだダンシング☆ヒーロー、ききょう祭の目玉である盆踊りを一緒に踊る事ができました。会場からは「楽しかったね」と言う声が聞かれ、一人一人に笑顔が溢れる最高の夏の思い出になりました。

吉沢学園 一泊旅行に行ってきました



一泊旅行当日、天候にも恵まれ観光地で日常では見る事の出来ない風景を利用者さんは興味深そうに見ていました。牛久大仏では大仏までのアプローチにある鐘を利用者さんが笑顔で鳴らしたことが印象的で、夕食後は、宴会場にてカラオケ大会を行い、唄ったり、踊ったり楽しい時間を過ごしていました。

いつも以上に利用者さんの笑顔が多く、利用者さんの笑顔をたくさんカメラに収める事ができたことが何よりのお土産になりました。

学園行事

花見



春風が心地よく、桜も満開を迎えた中、吉沢学園のグラウンドにて毎年恒例の「お花見」が開催されました。この日は天気も晴れ、気温も暖かく絶好のお

花見日和となりました。利用者の皆様にはフランクフルト、肉と野菜の炒め物、けんちん汁、白米が振る舞われ、桜の花びらが舞い散る中、美味しそうに食事をされていました。食後には軽い運動を兼ねた「玉入れ大会」など行い、例年とは一味違うお花見会となりました。

デイキャンプ



真夏の太陽が照りつける中、8月13日にデイキャンプを行いました。デイキャンプでは利用者さんに野菜洗い、ピーラーでの皮剥きと色々なことに挑戦してもらいました。お米炊き、野菜煮込み等の火を扱うものは職員

が行い、利用者さんと職員で協力し出来上がった、トロピカルカレーとフルーツポンチはとても美味しかったです。食べ終わった後は利用者さんと職員でスイカ割りを行い、綺麗に割ることができました！笑顔溢れる楽しいデイキャンプでした。

マイクロバス購入



新たにマイクロバス（25名乗り）を購入しました！学園では、10年振りのマイクロバスの所有となります。マイクロバスを購入したことにより、これからシーズンとなる運動会などの行事で使用することはもちろん、余暇日のドライブ等も気軽に行くことが出来るようになりました。また学園での使用だけでなく、加茂地区の『高齢者の集い』では、地域の高齢者を加茂公民館までの送迎にも使用し、マイクロバスを所有することで、地域とのつながりが更に近づきました。

3棟いざ大多喜城へ



3棟の利用者全員で8月17日に大多喜城へ行きました。付近の駐車場から坂を登り、大多喜城の前まで行きましたが、城を覗いて指を指す利用者さんや、坂道で歩き疲れてしまったのか、ベンチへ行き座り込む利用者さん等、皆様々なりアクションをしていました。3棟の皆さんは今年に入所された方ばかりなので、皆で一緒に外出をする事が出来て良い思い出になりました。

地域コラム

地域奉仕



吉沢町会のゴミ拾いに参加しました。朝からとても暑い日でしたが、頑張っておゴミ拾いを行ったかいもあり、見違えるように綺麗になりました。ゴミ拾いをして

していると地域の皆さんから「暑いのに頑張っているね。お疲れ様」と声をかけて頂き、利用者さんも笑顔で手を振り、答えていました。これからも地域活動に積極的に参加し、地域の美化活動に努めていきたいと思っています。

鳳来寺観音堂



文化庁に残る昭和41年以前の写真

前回のききょうタイムズにて、鳳来寺の建立年に誤りがありましたこととお詫び申し上げます。鳳来寺観音堂は、室町時代後期に建立され、江戸時代に修理され、その後数回修理されたと記録にあります。昭和42年に解体修理工事が実施され、建築時の姿に復元すると同時に、現在地に移築されました。屋根の葺き替えは移築時を含み今回で3回目になります。今後は当法人としても、国指定重要文化財である鳳来寺観音堂を、草刈りなど周辺整備の面で、地域の方々と共に保持保全に協力させていただきたいと考えています。



グループホーム女性達のある日



グループホームに移行してから約5か月が経ち、ホームでの生活にも慣れてきました。入所生活が長かった方も多く、入所生活とは違うところもあり、最初は戸惑いもありましたが、その分楽しみもいっぱいです。掃除や洗濯もちろん自分たちで行っています。掃除機やモップを使って自分の部屋やリビングを掃除するのも上手になりました。目の前で世話人さんが料理をしていることに興味津々で、「今日のご飯はなに？」と聞きに来る方やカウンターでじっと調理の様子を見ている方など様々です。包丁の音、出来たてのご飯の匂い、世話人さんとの会話等、グループホームの毎日を皆さん楽しんでいきます。

行きたい場所や、やりたいことを各ホーム事で話し合い、休日に外出等しています。この日は、買い物や外でお昼ご飯が食べたいとの希望があったので、市原アリオに出掛けてきました。店内では「かわいいね」「こんな洋服が着たいな」と様々な雑貨や洋服を見て楽しんでいる様子でした。昼食はフードコートにあるお店の中から、自分が食べたいものを探して選んでいました。「これも食べたいけど、あっちも食べたい」と真剣に選んだあとのご飯は格別でおいしかったようです。外食が楽しみなホーム、買い物をするのが楽しみなホームなど、ホームによって休日の楽しみが違っていて毎月休日の計画を立てるのが楽しみです。



グループホーム男性達のある日



喫茶もみの木で毎月第一土曜日に行われるパンバイキング。皆とても楽しみにしており、車に乗り込む足取りも軽く、ワクワクする気持ちに乗せて、いざ出発！店内に到着すると、明るく軽やかな「いらっしゃいませ」の声と美味しいパンの香りのお出迎え。テーブル席で一息すると、パンダ顔のチョコパンやメロンパン、ピザなど、沢山の種類を楽しんでもらえる様、一つ一つがやや小ぶりに出来ているパンを、皆さんとても美味しそうに頬張っていました。ひとしきりパンバイキングを楽しんだ後、店内のギャラリーコーナーの自然や植物、風景などの写真を鑑賞し、もみの木を後にしました。一足早い食欲と芸術の秋となりました。

地域コラム

現在、喫茶もみの木では、第一土曜日11:00から14:00の3時間の間、パンバイキングを行っております。5月から始めて500円でサラダとドリンク付き(コーヒー or 紅茶は飲み放題)リーズナブルな値段設定でお客様からも好評を頂いております。

また、来客状況に応じて焼きたてのピザ6種類を提供しております。ミニパンも多種と豊富に並べておりますので是非一度ご賞味下さい。ご来店お待ちしております。



市原市三和福祉作業所

三和サマーフェスティバル



7月27日、当初心配されていましたが天候にも恵まれ、みんなが楽しみにしていたサマーフェスティバルが開催できました！今年のテーマは『みんなでつなぐ三和』ステージ披露では、ユーモアあふれるトークを交えながらのジャグリングと、今年も恒例となった空想和太鼓の打雅獅屋さんに演奏して頂き会場も大いに盛り上がり、そのパフォーマンスや太鼓の音に魅了された方もいたのではないのでしょうか。また、焼き鳥やフランクフルトを食べながら、楽しい話に花を咲かせた皆さんの笑顔と笑い声が聞こえました。今年も皆様のおかげで、サマーフェスティバルを成功させる事が出来ました。これからも職員一丸となって頑張っていくしますのでよろしくお願いいたします。

春の遠足



6月20日に横浜にある室内型テーマパーク「オービィ横浜」に春の遠足で行って来ました。前日は晴天だったのに、当日はまさかのバケツをひっくり返した様な、土砂降りの雨でのスタートとなってしまいました。しかし、ここは室内型！ということもあり、外の雨嵐は気にすることなく、小動物と触れ合い心穏やかになったり、ドキドキしながらもカピバラやカメにエサをあげる体験をしてきました。また、暖かいイメージのあるアフリカ赤道直下「マウントケニア」の一日の温度差を疑似体験し、25℃から-20℃の温度差を肌で感じ、非日常的な1日を皆で思いっきり楽しみました。

こどもステーション三和(放課後等デイサービス)



「こどもステーション三和」では8月21日に、初めての『流しそうめん』を行いました。

当日は天気も良く、流しそうめん日和の1日となりました。朝から子供たちは楽しみにしており、職員が麺を流し始めると、最初は緊張していたのか、なかなか上手く取ることは出来ませんでした、回を重ねるごとに上達し、楽しむ事ができました。

最後にかき氷やアイスクリームも食べて、さらに大満足の様子で子供たちも職員もたくさんの笑顔が見られた1日でした。



児童発達支援事業&放課後等デイサービス

こどもステーション牛久



7月7日の七夕には星に願いを込め、笹飾りを作りました。画用紙で作ったスイカに種をたくさん描く子もいたり、織姫と彦星に可愛くお顔を描いたり、それぞれ個性あふれる素敵な笹飾りができました。職員の手作りブラックパネルシアターでは、彦星と織姫のお話を鑑賞しました。ブラックライトに当たったイラストがキラキラと光り、子ども達は時折指差しをしたりと、楽しく鑑賞していました。短冊に書いたみんなの願いが、ぜ～んぶ叶いますように…。そう願いたくなるような子ども達の素直な思いに、心温まるひと時でした。

こどもステーション東国分寺台

楽しい夏休みのしめくくりの行事として開いたのは『縁日』。神社の縁日をイメージした屋台には、平日に子供たちと準備した作り物の食べ物やもぐらたたきゲームが並びます。おもちゃのお金を持ってお買い物ごっこを楽しむ子ども達。買ったものを「見て!」と笑顔で見せてくれました。中にはお金が足りなくなってしまってお店でアルバイトをする子も・・・おやつにはかき氷を作って食べ、夏休みの楽しい思い出の一つになりました。



こどもステーション菊間



さつまいも畑を作りましたー! 草取りをする子、土を掘って遊ぶ子、バケツに水を入れて運び始める子、職員に教えてもらいながら鍬で土を耕す子、みんな好きな事をやりながらそれぞれのペースで参加していました。「早く芋掘りしたいー」「お芋どこにできるの?」「お芋食べたいな」と、さつまいもができるのを想像しながら楽しそうに苗を植える姿もありました。もうすぐ収穫を迎えるさつまいもは、子ども達の夏の成長を見ているかのように、ぐんぐん伸びています。収穫後にはお芋パーティーを企画していますので、そちらもお楽しみに～♪



浅井小向デイサービスえん(地域密着型通所介護事業)

手作り夏祭り

今年も暑い日が続きましたが、浅井小向デイサービスえんでは体調不良になられる利用者様もなく、笑顔で夏を乗り切りました。

8月に恒例の、施設内で夏祭りを開催した様子です。お囃子の音楽にゲームも盛り上がり、歓声も聞こえてきていました。大好評の大判焼き・ホットドック作りでは、香りに食欲も増し、皆さん楽しみながら召し上がられました。

利用者様の素敵な笑顔に職員も、心和む時間を過ごさせて頂きました。



中核地域生活支援センター いちはら福祉ネット(千葉県委託事業)



7月21日、千葉市生涯学習センターにおいて、中核地域生活支援センター大会in2018が開催され、県内から286名の方のご参加をいただきました。

今年度は【社会の変容と家族のカタチ～多様な『つながり』を考える～】をテーマに、基調講演では立教大学の湯澤直美先生から、家族の変容と望まれる社会的支援のあり方についてお話しいただき、後半のシンポジウムでは、外国人家庭の子育て支援をしている児童家庭支援センターヴィオラ、福祉まるごと相談窓口を今年度立ち上げた松戸市役所、LGBTの当事者と支援者の会であるレインボーの会、それぞれの立場から家族のとらえ方、新たなつながりについての提言をいただきました。今後の地域福祉を進めるうえで、家族全体を捉えた視点での支援がますます必要になっていくことを感じる大会となりました。

障害者グループホーム等支援事業(千葉県委託事業)

千葉県立市原特別支援学校から依頼を受け、5月16日、高等部2・3年生の保護者を対象とした「進路学習会」で、「学校卒業後の生活とグループホームについて」をテーマに、制度や生活の様子について説明を行いました。当日は、小学部や中学部の保護者もご参加下さり、約40名の方にお集まりいただきました。

将来的にグループホームを利用したいと考えている保護者が多く、説明後の質疑応答では、体験入居の方法について関心を示しており、こどもが徐々に地域での生活に慣れていけるよう様々な情報を集め、卒業後の選択肢を検討している様子が伺えました。

研修会等での説明以外に、グループホームの話を知りたいというご家族や当事者などに個別での相談も行っています。お気軽にご相談下さい。



市原市生活困窮者自立支援事業 いちはら生活相談サポートセンター(市原市委託事業)



デイキャンプ

吉沢学園にて8月22日、「子どもの学習支援事業」を利用する市内中学生とその卒業生らを対象にデイキャンプが行われました。2回目となる今回は絶好の快晴。学習支援員の先生や吉沢学園の職員も協力し、午前はバーベキュー、午後はクイズ大会などレクリエーションで盛り上がりました。参加した生徒は仲間や先生との交流を一層深める機会となり、社会福祉法人クローバー会様よりいただいたお土産を手に思わず笑みがこぼれました。

みんなでつなぐRUN伴

RUN伴とは、「認知症になっても安心して暮らしていける町」を目指し、地域住民と認知症の人、家族や支援者が一緒にタスクをつなぎ、日本全国を縦断するイベントです。市原市では昨年に続き2回目の開催で146名のランナーと133名のボランティアが参加しました。当センターでは、中継地点の運営を担当し給水所のお手伝いやランナーの応援を行いました。就労準備支援事業の利用者やボランティアの方が準備から当日まで協力し、笑顔でランナーをサポート!地域がオレンジ色に染まり、沖縄でのゴールに向けて想いを込めたタスクが繋がりました。



第1弾 30周年の歩み (平成元年～平成15年)



①開設当時の吉沢学園 (ここから歴史が始まったんですね)

②平成2年頃:園外学習でマザー牧場に
(前理事長もにこやかな笑顔を向けています)



③平成2年頃:成人を迎え大人の仲間入り
(玄関前で記念撮影。皆さん若い)



⑥平成5年頃:みんなで仲良くコーヒータイム
(前園長も一緒にのんびりと)



④平成2年頃:さあみんなで盆踊り!!
(この頃は中庭で納涼祭)



⑤平成3年頃:やぐらの周りで盆踊り!!
(立派なやぐらが出来ました)



⑧平成7年頃:お祭りにてカラオケ大会開催
(ハッピーに変わって気持ちも新たにお祭りだ)



⑦平成7年頃:みんなで作業前のラジオ体操
(旧園舎内中庭にて)



⑨平成8年頃:林産班の植菌作業風景
(植菌はこの時覚えました)



⑩平成8年頃:稲作班の脱穀作業
(米とわさをみんなで協力して運んでいます)



⑪平成8年頃:リサイクル班の空き缶つぶし
(甘も今も現役で頑張っています)

⑬平成14年度:外部でキャンプファイヤー
(みんなで行くと盛り上がる)



⑫平成9年頃:フライングディスク入賞
(今も昔も強いんですね)



⑭平成15年頃:鳳来寺にて音楽隊の演奏
(音楽隊は今も活躍しています)

